

四国中央市クリーンセンターの現状

第1回四国中央市ごみ処理施設整備検討委員会
令和5年6月30日

目次

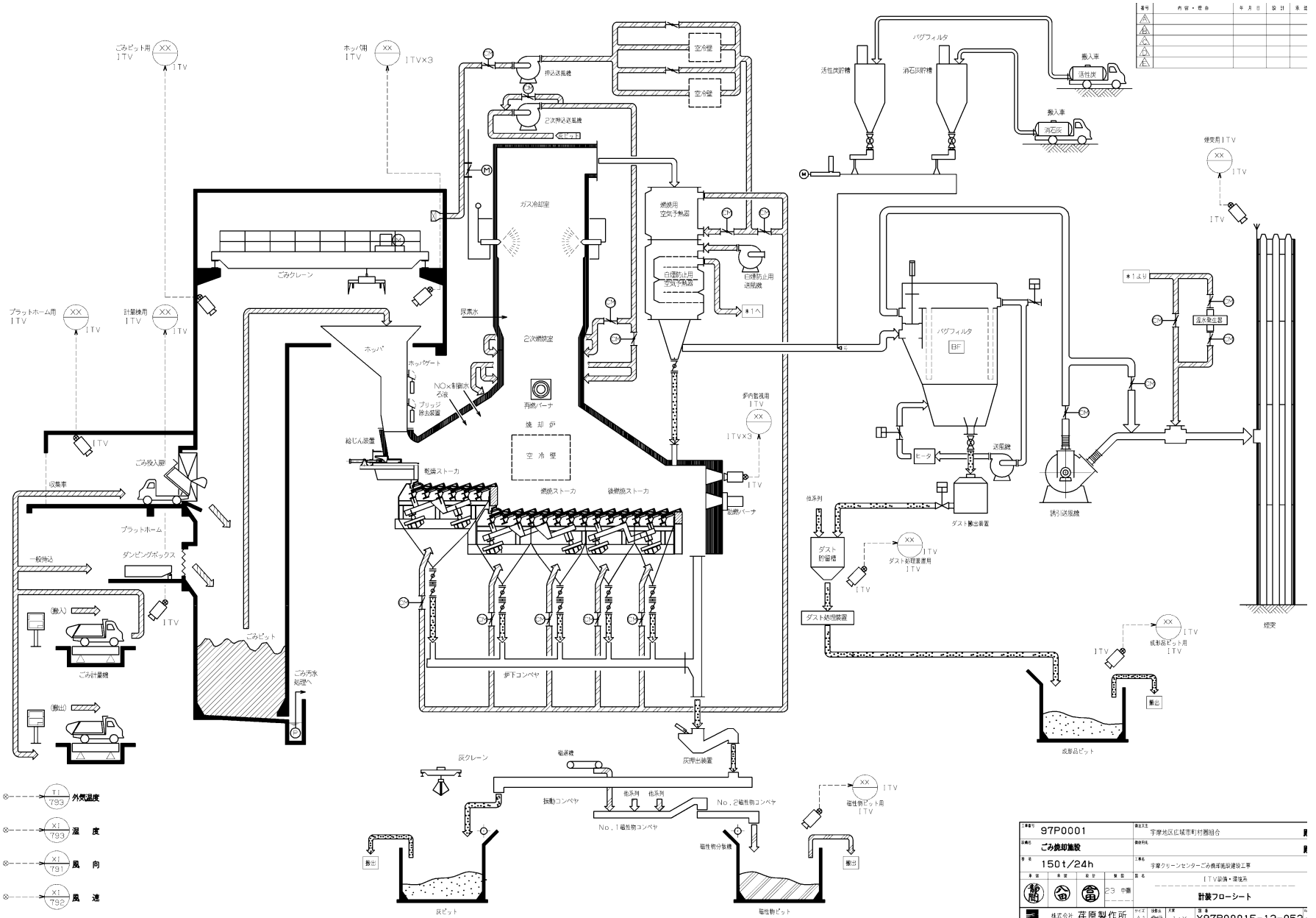
- (1) ごみ焼却施設
- (2) リサイクルプラザ
- (3) 本市ごみ処理施設の状況

(1) ごみ焼却施設 –施設概要–

- 焼却施設は竣工後約23年が経過している。
- 本市が所有する唯一の焼却施設となっている。

項目		概要
施設名称		四国中央市クリーンセンター(ごみ焼却施設)
所在地		愛媛県四国中央市中之庄町字浜之前1670番地3
竣工		平成12年3月
形式		連続燃焼式
能力		150t/日(50t/24h×3炉)
設備	受入れ供給設備	ピット&クレーン方式
	燃焼設備	ストーカ式焼却炉(灯油を助燃材(炉の立上げ時やごみの熱が低い(水分が多い等)時に活用)
	燃焼ガス冷却設備	水噴霧式
	排ガス処理設備	集じん : バグフィルタ方式 有害ガス除去 : 乾式消石灰噴霧式 ダイオキシン除去 : 活性炭噴霧式 窒素酸化物除去 : 燃焼制御及び高温無触媒還元式
	余熱利用設備	白煙防止及び場内利用(給湯・暖房)
	灰だし設備	焼却灰 : 磁力選別&ピット&クレーン方式 ダスト : キレート処理及びセメント固化
	給水設備	工水及び上水
	排水処理設備	クローズドシステム(場内循環)

(1) ごみ焼却施設 -処理工程-



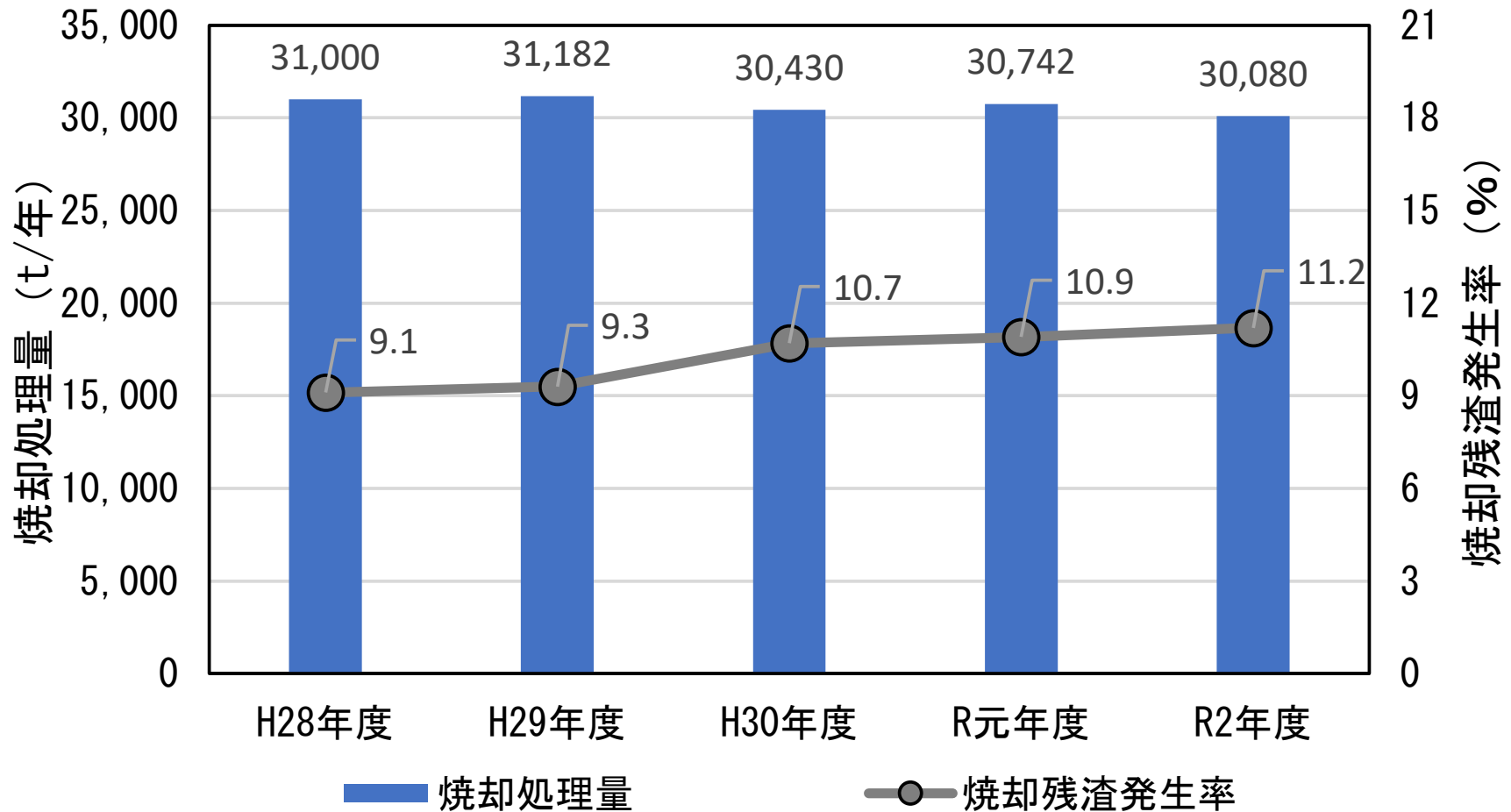
- (T) 793 外気温度
- (X1) 793 湿度
- (X1) 791 風向
- (X1) 792 風速

機種名	97P001	設置先	宇摩地区広域市町村組合
製造年	ごみ焼却施設	設置日	
容量	150t/24h	設置者	宇摩クリーンセンターごみ焼却施設建設工事
型式			ITV設備・埋込機
			計装フロッピー

(1) ごみ焼却施設 -処理量の推移-

- 焼却処理量 : 増減を繰り返しながら推移
- 焼却残渣発生率 : 増加傾向で推移 (施設老朽化)

※燃やすごみを焼却処理した後に発生する焼却灰等の発生率



(1) ごみ焼却施設

-施設の状況-

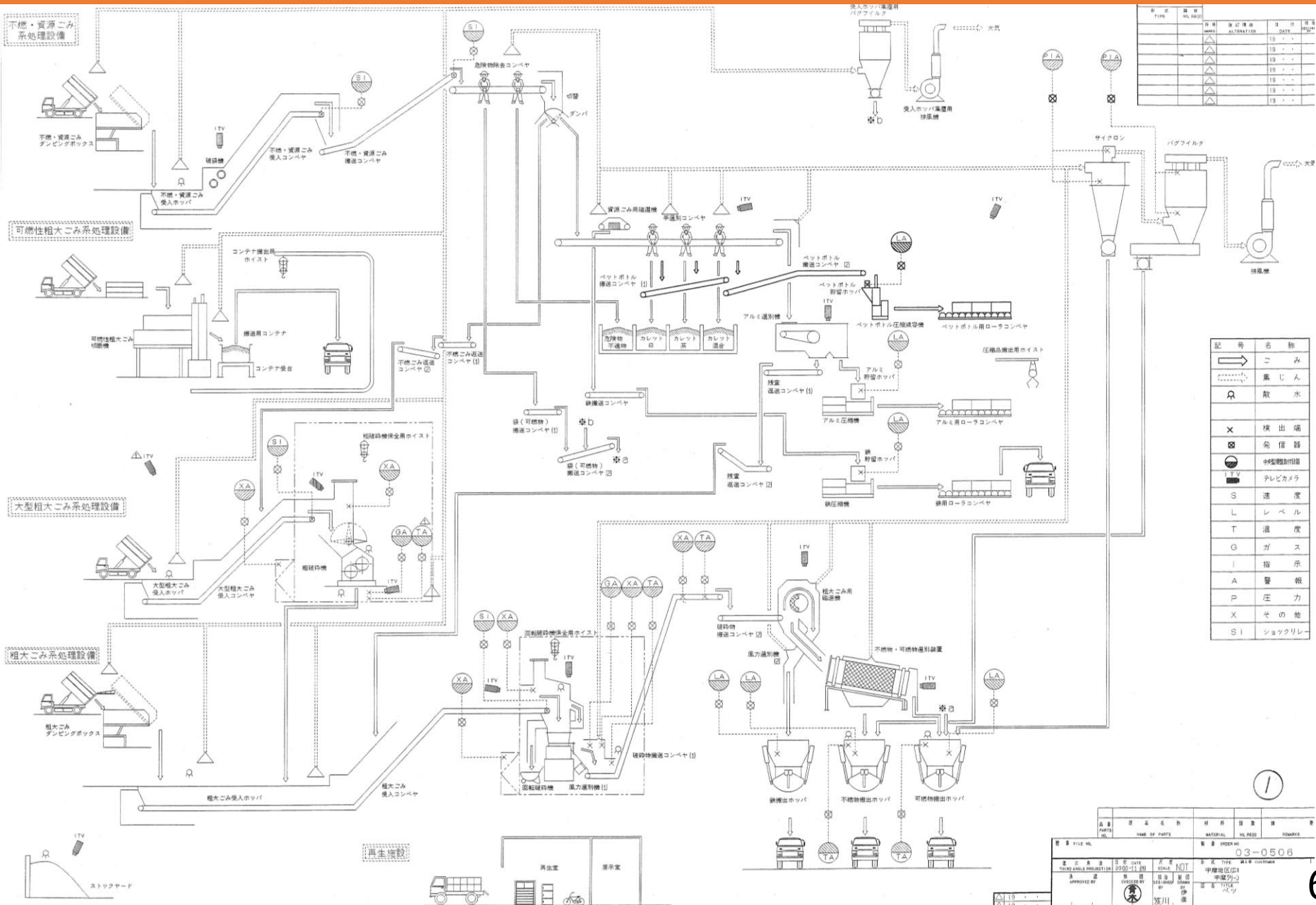


(2) リサイクルプラザ –施設概要–

- 資源化施設は竣工後約26年が経過している。
- 本市が所有する唯一の資源化施設となっている。

項目	概要
施設名称	四国中央市クリーンセンター(リサイクルプラザ)
所在地	愛媛県四国中央市中之庄町字浜之前1670番地3
竣工	平成9年3月
能力	32t/日(粗大:8.8t/日、不燃:11.7t/日、資源:11.5t/日)
設備	【粗大ごみ】 受入れ供給設備:ダンピングボックス、受入ホッパ 破碎・圧縮設備:粗破碎機、回転破碎機 搬送設備 : 振動コンベア、受入コンベア、搬送コンベア 選別設備 : 磁選機、不燃物、可燃物選別装置(トロンメル) 貯留・搬出設備:可燃物貯留ホッパ、不燃物貯留ホッパ
	【燃やさないごみ】 受入れ供給設備:ダンピングボックス、受入ホッパ、破袋機 搬送設備 : 受入コンベア、袋除去コンベア、 危険物除去コンベア、残渣搬送コンベア ※これ以降は粗大ごみ処理ラインにて処理
	【資源ごみ】 受入れ供給設備:ダンピングボックス、受入ホッパ、破袋機 搬送設備 : 受入コンベア、袋除去コンベア、 危険物除去コンベア、残渣搬送コンベア、 手選別コンベア 選別設備 : 磁選機、アルミ選別機 貯留・搬入設備:鉄・アルミ貯留ヤード 圧縮設備 : 鉄圧縮機、アルミ圧縮機、ペットボトル圧縮機
	【可燃性粗大ごみ】 切断機

(2) リサイクルプラザ -処理工程-



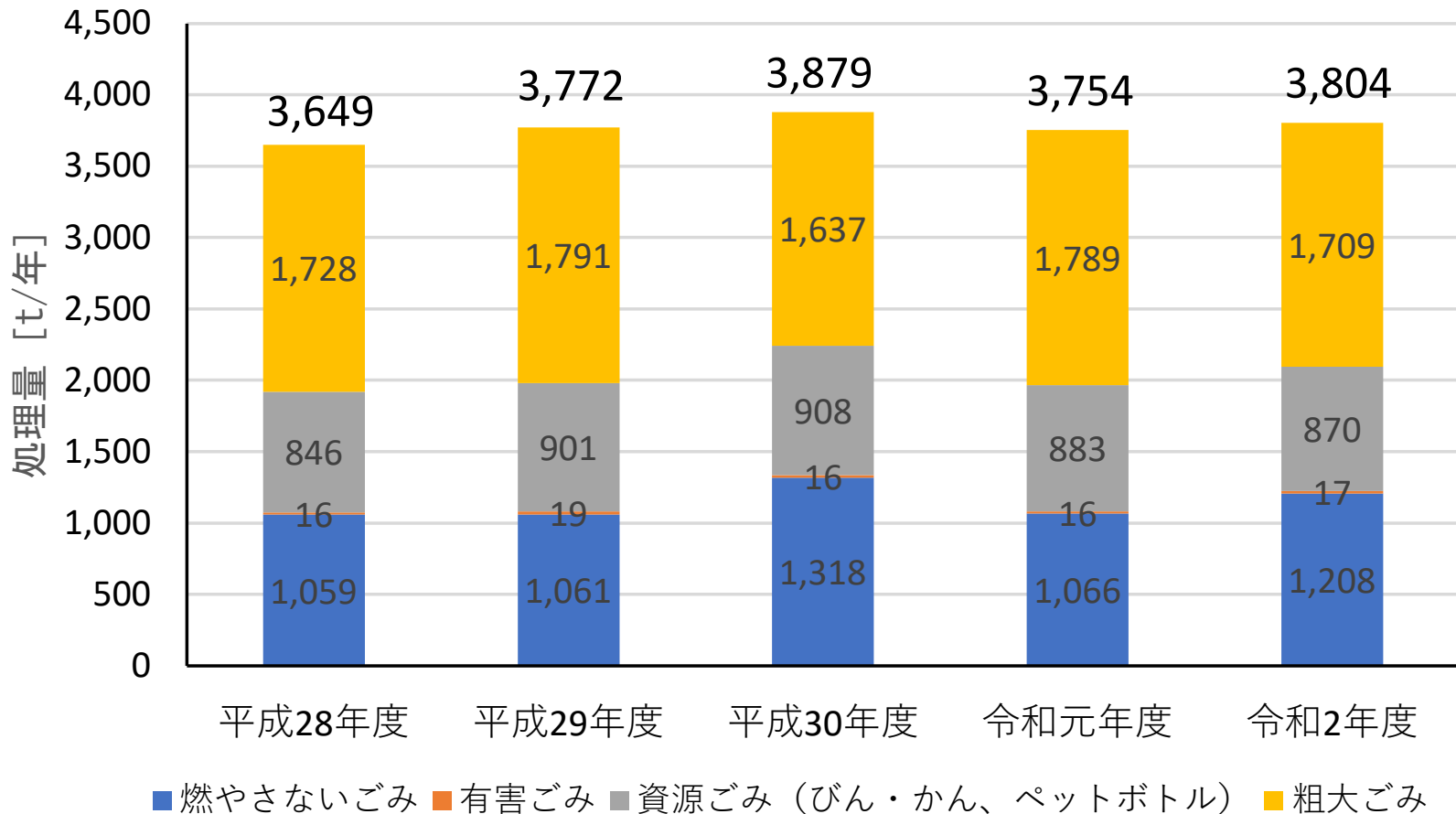
工種	種別	作業内容	日付	担当者
19	+			
19	+			
19	+			
19	+			
19	+			
19	+			
19	+			

記号	名称
→	ごみ
⋯	集じん
☺	散水
X	排出口
⊗	発塵器
⊙	中継機
ITV	テレビカメラ
S	速度
L	レベル
T	温度
G	ガス
I	指示
A	警報
P	圧力
X	その他
S1	ショックリレ

品名	部品名	材料	数量	単位
FILE NO.	MATERIAL NO.	PROJ. NO.	03-0506	
DATE	SCALE	TYPE	CUSTOMER	
2010-11-19	1/1	NET	中環建設	
DESIGNED BY	CHECKED BY	DRAWN BY	伊藤	
APPROVED BY	DATE	SCALE	19	

(2) リサイクルプラザ –処理量の推移–

- リサイクルプラザは燃やさないごみ等の処理を行っており、処理量はそれぞれ増減を繰り返し横ばいで推移している。



(2) リサイクルプラザ -施設の状況-



(3) 本市ごみ処理施設の状況

■ 焼却施設

- ・ 焼却処理量は増減を繰り返しながら推移している。
- ・ 年々、焼却残渣の発生率は高くなっている。
- ・ プラント、建築等、施設の老朽化が著しい。

■ リサイクルプラザ

- ・ 処理量は増減を繰り返しながら推移している。
- ・ 焼却施設に比べ、機器点数が少なく構造もシンプルなことから、老朽化が緩やかに進行している。